

# サードワークプレイス研究部会 2022年活動報告

株式会社シーエーシー  
齋藤 学



# 活動概要

部会名	サードワークスペース研究部会
目的・テーマ	本部会はテレワークの活用で「企業の生産性を上げ、同時に個人のQOLを向上させる」ワークスタイルを追求し続けることを目標とし、2017年度に設立。特に、オフィス・自宅以外のサードワークスペースの活用が今後重要となると考え、働く場所についての理解を深め、情報を提供している。
内容	2022年度は、2021年度の提言に従い、私生活との連携も踏まえたアクティビティ分類の研究をすすめる。また、WEB会議等のオンラインコミュニケーションの進化も踏まえ、サードワークスペースにメタバース等のバーチャルスペースを含めて考え、引き続きワークスタイルの進化を模索する。
運営体制	部会長 (株)シーエーシー 齋藤 学 副部会長 (同)ユビキタスライフスタイル研究所 萩原 高行 事務局 (一社)日本テレワーク協会 若生 直志

# 実施スケジュール

	日時	テーマ
第1回	2022年9月27日（火） 15:00～16:40	開会あいさつと年度方針の検討
第2回	2022年10月25日（火） 15:00～16:00	講演：ハイブリッドワークで再定義されるオフィスとサードワークプレイスの役割とは
第3回	2022年11月18日（金） 15:00～16:40	メタバースについての講演（伊藤忠インタラクティブ社）
第4回	2022年12月16日（金） 15:00～16:30	サードワークプレイス利用の法務的観点の検討
第5回	2023年1月24日（火） 15:00～16:40	Activityトラッキングについて討議
第6回	2023年2月17日（金） 15:00～16:30	レポートについて討議
第7回	2023年3月28日（火） 15:00～16:40	



# 成果物

## ■ 2022年度報告書

「転換期を迎えるサードワークスペース～メタバース・ワーケーションの台頭～」  
提言

1. 企業はワーケーションやメタバースを含め選択肢が拡大していることを踏まえ、自社従業員のワークスペース選定ガイドラインを整備すべきである
2. . 企業は従業員の健康管理方法に注意しなければならない

※会員ページにて公開済。一般公開(プレスリリース6/8)。

## ■ 過去の研究成果

- ・ 2020年度報告書

「COVID-19とサードワークスペースーアフターコロナの時代に、企業はどのようにサードワークスペースと関わるのが良いか」 <https://japan-telework.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2021/08/7eccfb9d01857718d43be121d39bc216.pdf>

- ・ 2021年度報告書

「ABWを踏まえたニューノーマルワークスタイル」 [https://japan-telework.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/07/thwp\\_report\\_2021.pdf](https://japan-telework.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/07/thwp_report_2021.pdf)